
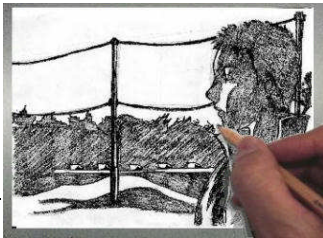


題材指導計画

題材		忘れたくない夕焼け空 (全9時間)		
目標	自分の心に残る放課後の夕暮れ風景を、色の感情効果や対比のバランスを工夫し、カッターナイフや透明水彩の特徴を生かして、背景に色をつけた切り絵で表す。			
評価 規 準	関心・意欲・態度	切り絵で表現することに興味をもち、心に残る放課後の夕暮れ風景の表し方を工夫しようとする。		
	発想や構想の能力	構図の工夫や色の感情効果を考え、自分の心に残る夕暮れの風景を切り絵と彩色した夕焼け空との組み合わせで表すための構想をする。		
	創造的な技能	カッターナイフ、透明水彩を適切に扱い、表現の意図に合った制作をする。		
	鑑賞の能力	関口コオの切り絵や自他の完成した切り絵を鑑賞して、よさを味わう。		
過程	時間	学習活動	支援及び指導上の留意点 (太字は、研究上の手立て)	
美術 作品 を 味 わ う	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関口コオの夕暮れが表現された作品(図1)を鑑賞し、主題のよさや表現の工夫からくる美しさを感じ取る。 ○ 表現課題「自分の心に残る放課後の夕暮れ風景を切り絵と彩色した背景の組み合わせで美しく表現する」をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が作品を見て感じた印象から、懐かしさや寂しさ、哀愁などを感じているものを取り上げ、それを表した作者の心情を考えさせ、懐かしさや寂しさ、哀愁などを表現する魅力を感じ取らせる。 ○ 懐かしさや哀愁を感じさせている線や色の使い方や構図の工夫を考えさせ、背景に色を使った切り絵の美しさを理解させる。 ○ 個人で考えた後に、グループで考えを伝え合わせ、共感や新たな気付きを促し、作品のよさを理解できるようにする。 ○ 表現課題を告げ、切り絵の黒と夕焼けの空を生かして、自分が表現したい情景を考えさせ、表現への意欲を高め、関口コオの作品のよさを生かして、自分の表現の発想・構想ができるようにする。 	 <p>図1 「茜空に」 関口コオ・作</p>
	ふく ら ま せ る ・ ね る	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の心に残る日常の夕暮れ風景を基にして、切り絵作品のアイデアスケッチをする(図2)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 懐かしさや哀愁を切り絵に色を合わせて表現しているよさを生かし、自分の心に刻まれた放課後の情景を切り絵と彩色した背景の組み合わせで表現することを伝え、表したい放課後の情景を考えさせる。 ○ 参考になる写真などを用意させ、自分の表現したい風景や場面を複数スケッチさせる。 ○ 複数のスケッチの部分を取り出し、一枚のスケッチにまとめる方法を伝え、心に残る夕暮れの情景を表すことができるようにする。
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ アイデアスケッチを切り絵の表現にあわせ図案化する(図3)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 切り残す部分を鉛筆で塗りつぶし、切り抜いた後に、形がつながる部分を確認させ、形をつなげたり分けたりさせて、スケッチを切り絵での表現に合わせて図案化させる。 	 <p>図3 図案化の例</p>
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図案を黒画用紙に転写する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ トレースの仕方を教師が実演して理解させ、図案をトレーシングペーパーと赤カーボン紙を使い黒画用紙に転写させる。 	

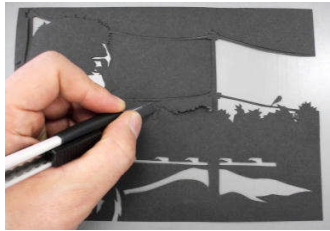
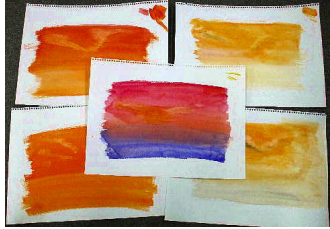

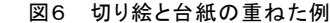
			<ul style="list-style-type: none"> ○ トレースの際に、もう一度、切り抜く部分を考えさせ、形のつながりや形を分けたい部分を修正しながらトレースできるようにする。 	
あ ら わ す	5 6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 切り抜く部分をカッターナイフで切り抜く(図4)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 美しく切り抜くための切り込みを入れる方向や順番を例を使い説明し、切り口の美しい切り抜きができるようにする。 ○ 線が角になっている部分にしっかりと切り込みを入れるように注意させ、美しい切り抜きができるようにする。 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 背景の夕焼け空を透明水彩の特徴を生かし、彩色する(図5)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 透明水彩の重色、ぼかし、にじみ、吸い取りの技法を教師が実演してコツを伝え、それらの技法を応用した夕焼け空の表現例を提示し、透明水彩の特徴を生かした夕焼け空の彩色ができるようにする。 ○ 大きめの画用紙中央に、作品の大きさの枠を薄く作図させ、枠からはみ出させて彩色させることで、完成時に作品の端まで、にじみやぼかしの表現が美しく表れるようにする。 ○ 色を変えてみたり、技法の取り入れ方を変えたりしながら複数枚の夕焼け空を表現するように伝え、試行しながら、美しい夕焼け空の表現ができるようにする。 	
	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 彩色した背景と切り絵を貼り合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの彩色した背景と切り絵を重ね(図6)、自分のイメージに最も合うものを選択させる。 ○ 背景を作品の枠の大きさに切り取らせ、切り絵の細部が破損しないように注意させて、のり付けさせる。 	
自 他 の 作 品 を 味 わ う	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自他の完成した作品を鑑賞してよさや美しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の活動を振り返り、作品の風景と自分との関係や思い、図案の工夫点、彩色の工夫点、完成した作品から感じるよさを考え、ワークシートに記入させ、制作の過程を振り返ることができるようにする。 ○ ワークシートに記入した制作の意図などを発表し合い、友達の作品のよさを認め合い、気付いたよさを賞賛し合えるようにする。 	



図7 完成作例の例